



発行：神戸大学大学院医学研究科小児科 こども急性疾患学部門

神戸こども初期急病センター



2011年 5月受診者数：3283人

訴え

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

- 1. 発熱 : 2019人 (1668人)
- 2. 咳 : 1431人 (301人)
- 3. 嘔吐 : 640人 (295人)
- 4. 鼻汁 : 1010人 (29人)
- 5. 下痢 : 466人 (104人)

疾患頻度

- 1. 急性上気道炎・咽頭炎 : 1197人
- 2. 感染性胃腸炎 : 612人
- 3. インフルエンザ : 236人
- 4. 気管支炎・肺炎 : 233人
- 5. 気管支喘息 : 136人



今月のワンポイント！

梅雨入りし、雨の多い日が増えてきました。今年は台風も早くから発生し、異常気象がまたもや予想されるのではと危惧しています。



さて、5月は3283人の受診者があり、総人数ではここ3か月間で一番多い数となっています。数だけ見ると、何か大きな流行があるのではと思うのですが、おそらく連休の受診者が多かったためと予想されます。内訳を見てみると、インフルエンザ、感染性腸炎で受診される患者さんは毎月減少してきており、冬に流行する2大感染症はようやく鎮静化してきたようです。そのかわり、発熱、咳で受診される方が多くなっています。これから梅雨に入ると、気圧の変化、湿度の変化などが影響し、喘息や咳の患者さんが増えてきます。また、夏風邪も流行ってきますので、これまでと同様に手洗い、うがいなどの感染予防は引き続き行ってください。

さて、梅雨が明けると、暑い夏がやってきます。節電は大切なのですが、熱中症には十分注意し、こまめな水分補給、適切な体温管理を心がけてください。エアコンのフィルター掃除は節電にも、ハウスダスト拡散防止にも有効のようです。早めの猛暑対策をしておきましょう。

